

要 点 録

会議名	第17回 八王子市レジ袋削減推進協議会				
日 時	平成29年5月10日(水)	開始	午後3時	終了	午後4時半
場 所	八王子市役所 本庁舎5階 501会議室				
出席者氏名	事業者	スーパーアルプス、コーナン商事			
	市 民	ごみゼロ社会推進協議会	廣元、加地		
		環境市民会議	沖之島、正岡		
	市職員	原田資源循環部長、木下ごみ減量対策課長			
店頭啓発活動職員		松本、隅田、久保田、田口			
事務局		林、原田			
配付資料	次第 資料1～6				

- ・ 開会の挨拶 【木下課長】
- ・ 挨拶 【原田部長】
- ・ 配布資料の確認

1. 平成28年度 マイバッグ持参率データ集計

司会	商工会議所の委員交代について説明
事務局	資料1について説明
環境市民会議A	取り組みに応じて持参率が違うと感じる。 有料化店舗では持参率が80%を下回ってきてはいるものの、全体として持参率は微増しており、これは継続して啓発に取り組んでいるためと思う。
ごみゼロA	取り組みにより、このようなよい結果が出ていると感じる。
事業者A	昨年度の持参率について報告します。 全店舗持参率は28.4% 八王子市は32.4%。前年は32.5%であったため、微減。 日野市では37.8%、神奈川県では17.4%、埼玉20.12%、その他地区は25.3% 取り組みを行なっている自治体では持参率が高くなっている。
ごみゼロB	事業者はさまざまな取り組みをしているが、買い物客の意識の差があるため、啓発活動を継続していくしかないだろう。
環境市民会議B	コツコツやっている結果が出ていると思う。事業者側がさまざまな取り組みをしている中、もう少し市民の意識を変えていけたらいい。

2. レジ袋削減にかかわる最近の動向について

司会	<p>東京都と八王子市の取り組みについて、資料2、3で説明</p> <p>資料2:東京都「2020年に向けた実行プラン」において、2020年度までにレジ袋の無償配布ゼロを目指すとしていることについて。 都に確認したところ、今後、販売業者、消費者代表、区市町村などによる協議会を設置する予定で、2020年度までにレジ袋の無償配布ゼロを目指すとのことであった。八王子市として協議会参加を呼びかけられたら応じていきたい。</p> <p>資料3:八王子市とセブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂で「地域活性化に関する包括連携協定」を締結し、「レジ袋削減とマイバッグ持参運動の推進」が今後の検討項目として挙げられていることについて。 今後、セブン-イレブン店舗でのマイバッグ利用促進月間のポスター掲示などを、働きかけていきたい。</p> <p>今後、新たな動きがあれば報告していく</p>
----	---

3. 今年度の活動について

司会	<p>来る、平成29年9月16日(土)から10月15日(日)まで市政100周年記念事業として全国都市緑化八王子フェアが開催されますが、本年3月急遽、資源循環部が西部地区サテライト会場の運営を担当することになり、準備期間や開催期間中に多くの資源循環部職員が従事することになりました。</p> <p>例年マイバッグの日の店頭啓発活動は、マイバッグの日である10月5日直近の日曜日に行なっていることから、今年度のマイバッグの日の店頭啓発活動は、10月8日(日)となりますが、全国都市緑化八王子フェアの期間と重なっております。緑化フェア期間中の土曜、日曜はサテライト会場での行事が多数予定されており職員が多く動員される予定です。</p> <p>また、八王子駅前には緑化フェアの中央地区サテライト会場であり10月8日は同時に大陶器市も開催される予定となっていることから、例年行なっている駅前でのイベント実施も難しい状況です。</p> <p>このため、平成29年度は店頭啓発活動と駅前イベントは休止し、活動内容を資料4のとおり提案します。八王子市の事情でご迷惑をおかけすることになり、申し訳ございませんが全国都市緑化はちおうじフェアは全市をあげての取り組みであり、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	資料4で説明
ごみゼロB	緑化フェアは、全市挙げて取り組まなければならないだろうから、今年度の休止はいたしかたないのではないか。
環境市民会議A	今年度休止したことで、停滞しないようにしていただきたい。
司会	東京都の取り組みにも注意しながら、停滞しないように努めたい。
環境市民会議B	大変残念ですが、そのような事情があれば仕方がない。そのかわり他の活動で工夫を出せたらいいのではないか。
司会	工夫して、効果的な啓発となるようにしていきたい。

4. その他

事務局	<p>資料5、6について説明</p> <p>資料5:ごみの排出量の少ない自治体ランキングで、八王子市が人口50万人以上の都市で全国1位となったことについて。(リサイクル部門では3位)</p> <p>資料6:東京造形大学と連携し、食品ロス削減プロジェクトを実施したことについて 食べきりを呼びかけるポスターやステッカーを市内の協力店に配布。協力店は現在100店舗を越えている。 プロジェクトで使用しているポスターやステッカーのデザインは、東京造形大学の学生の考案によるもの。</p>
ごみゼロA	最近訪れた店で、食品ロス削減のステッカーを見かけた。すばらしい取り組みと思う。学校現場にも広げていけたらいいと思う。
司会	今後、学校現場にも啓発を行なっていきたい。
事業者B	なかなかおもしろい取り組み。 いただければ、ステッカーを貼りたい。
ごみゼロB	学生さんのデザインセンスがいい。さらに、ステッカーに書いてある言葉も心に響いた。

事務局	<p>ステッカーを貼ったことで、食べきってから追加注文をいただくことが増えてきた、との感想も店舗からいただいた。</p> <p>食品ロス削減の取り組みは新聞にも紹介されているので、ぜひご覧ください。</p>
司会	<p>市からは以上になります。次に環境市民会議からのお知らせです。</p>
環境市民会議A	<p>環境市民会議の各地区の代表者(委員)が集まりごみ問題に取り組む、もったいない委員会が作成した第13号のポイ捨て防止を呼びかけるチラシについて説明</p>
司会	<p>本日もたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>次回は11月1日(水)日程はあらためて通知します。</p> <p>特にご意見がないようであれば、これで第17回レジ袋削減推進協議会を終了いたします。</p> <p>長時間にわたり、ありがとうございました。</p>